

こぶし園



(題字：第二こぶし園 原真一郎さん)

第39号

発行：令和3年11月20日 発行：社会福祉法人信濃こぶし会 編集：広報誌こぶしの風編集委員会

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1 電話(0265)35-8511 FAX(0265)35-9016 E-mail:kobushi@dia.janis.or.jp URL http://kobushikai.or.jp/



げんきいっぱい

真



「ぼっぼまつりと運動会」ユアサポートぼっぼ

目次

| | |
|-----------------|----|
| 理事長あいさつ | 2P |
| 柿むき作業最盛期 | 2P |
| 楽しかったよ！おいしかったよ！ | 3P |
| 利用者さんの横顔 | 3P |
| 職場紹介⑦ 相談支援 | 4P |
| 職員の動き・編集後記 | 4P |

作／ヘルパーステーション小川
八木橋百々花さん



移動支援さんありがとう

安心して暮らせる地域をつくるために

平穏な日々感謝

理事長 高本隆光



東京オリンピック・パラリンピックは賛否両論渦巻く中、開催されました。

開催の経過はともかく、アスリートの懸命な姿に感動し、無観客の会場の静けさとは裏腹に大興奮しました。パラアスリートの壮絶な競技人生や「人となり」を知り、本当に勇気と感動を頂いた時間でした。

疲弊しがちなこのコロナ禍にあってか、人のやさしさをしみじみと感じます。道路に覆いかぶさる草木を早朝人知れず刈り取ってくれる職員。帰りがけに必ず「明日も来るで」と声を掛けてくれる利用者さん。「私の拠り所だよ」そんな響きを感じる最高の挨拶です。毎日の「おはよう」で始まり、そして「明日も来るで」で終わる一日。なんとも普通の日常ではあるのですが、4月からのこの半年を思うと「今日もまた一日を皆で過ごせた」と振り返る日々だったように感じます。



**パドルダック
赤い羽根共同募金からの助成金により福祉車両を購入しました**



柿作業が始まりました

日に日に秋が深まる季節となり、朝夕の冷え込みも厳しくなってきました。こぶし園・第二こぶし園では、いよいよ市田柿の作業が始まりました。今年は何年にも比べ、小ぶりの柿が目立ち、色付きも少し遅いように思います。これからたくさんの柿の加工が待っていますが、今年は柿剥き機1台と柿の選別機・粉出

し機を新調しました。利用者の皆さんもさっそく新しい選別機を使って、作業を行っています。そして、今年も綺麗で甘い市田柿の完成が楽しみです。

計 報

高野美貴さん (パドルダック)



パドルダックに勤務されていた高野美貴さんが、永眠されました。高野さんといえば笑顔。その明るい笑顔と優しい声は、利用者さんに居心地のよい空間を作り提供していました。誰に対しても誠実で丁寧な関わりを自然とされていた姿が浮かびます。心よりご冥福をお祈りいたします。



**新しい機械で
作業は順調**

訂正とお詫び

前号の題字作者は「松山洸大」さんの誤りでした。訂正してお詫びいたします。

楽しかったよ

グース

●コカリナ演奏会

グースのスタッフの紹介で、8月にコカリナサークル『若草』のみなさんをお呼びして、グース・パドルダック・アイビスの利用者さん達と一緒にコカリナの演奏を聴きました。

みんなが知っている“となりのトトロ”の曲や童謡など、色々な曲をコカリナで演奏をしてもらいました。

またパネルシアターや手遊び、絵描き歌など、見ても聴いても楽しめる会になり、一緒に手拍子したり、歌ったりと、みんなとても演奏を楽しんで聴いていました。



おいしかったよ

パドルダック・アイビス

●リンゴをありがとうございました!

まだ残暑が続く秋の始め、中原農園さん(第二こぶし園利用者、中原健哉さん宅)から頂いたリンゴが各事業所に届きました。パドルダックとアイビスではコンテナいっぱいリンゴを見て皆大喜び!早速、丸かじりで食べました。その他、擦りおろしたり煮たりと調理も楽しみ、頂いたリンゴのお陰で「美味しいね!!」の声が飛び交う至福のひと時となりました。また、それ

ぞれの家にもリンゴを1個ずつ持ちかえり、後日、リンゴの絵を添えてお礼の手紙を送りました。

中原さん、ありがとうございました。



利用者さんの横顔

パドルダック ささき こう 佐々木 洸くん

アイビス まつ だ あかり 松田 明莉さん



3歳の洸くんは、中高生のお姉さん達に「可愛いね!」と言われる人気者。一緒に遊んでもらうと、それが嬉しくてお姉さん達を見ると「おいでおいで」と手招きする姿がとても可愛らしいです。ぬいぐるみが怖いとイヤイヤのポーズをしたり、胸の辺りを叩いてゴリラのまねをしたり、名前を呼ばれて「は〜い!」と手を上げる仕草など、色々な表情を見せてくれます。お散歩では、風で飛ばされていく枯葉を追いかけて、小石や草をグレーチングの間から落とすのが大好き。おままごとでは、お魚を焼いたり野菜や果物をお皿に並べて「どうぞ」と差し出すやり取りで、色々な人と直ぐに仲良くなっています。



「行ってきました!」といつも元気よく学校から帰って来る中学3年生の明莉さん。同学年の利用者さんと一緒にクイズをしたり、歌を歌ったり、素敵な歌声と楽しい笑い声が響きます。また、キレッキレのダンスも披露してくれます。スタッフもまねして踊ってみますが、息が切れてしまい、なかなかついていけません。最近はおやつ時間にリンゴのホットケーキや卵焼きなどを作って楽しんでいます。そして、年下の利用者さんの面倒もよく見てくれるとても優しいお姉さんです。これからも元気いっぱい笑顔が素敵な明莉さんでいて下さいね~!



相談支援 あのねっとこぶし

信濃こぶし会の相談支援事業『あのねっと』は、平成24年に専任の相談員が配属されて始まりました。

『あのねっと』の名前の由来は、「あのねえ…」と「ネット（ねっと）ワーク」から来ています。相談するときに「あのねえ」と発する言葉を大切に、関係機関や地域、社会資源などネットワークで繋いで困り感を明るく夢あるものにしていきたいという想いが込めら



事務所内の様子

れています。

現在の事務所は喬木村の生活支援センター内にあり、『あなたらしく生きるためのおてつだいをします』の理念のもと、皆さんからの相談を受け一緒に計画書を作成したり、関係機関との連絡調整等を行っています。

毎月行っている法人内の相談員連絡会では、利用者さんが悩んでいることや困っていることを話し合い、難しい時こそみんなで協力することを心がけています。



計画書にサイン中

ぜひ、みなさん気軽に
お話しに来てくださ～い(^^)



職員(の)動き

グループホーム 宮島高枝(世話人)



グループホームでお世話になって1年が過ぎました。今までは介護施設で仕事をしていたので戸惑う事もありましたが、利用者さんと親しくなり個性も分かってきました。今後も明るく接したり会話することによって、穏やかに生活できる環境づくりに励みたいと

思います。

また、食事も楽しみな大切な時間です。喜んでいただけるようにメニューを工夫したいと思います。今後もよろしくお願いします。

グループホーム 岡田裕美子(世話人)

グループホームで今年1月から、6月からはグースでもお世話になっていきます岡田裕美子と申します。初めての職種、さらに久しぶりの仕事復帰ということもあってドキドキのスタートでしたが、声かけに利用者さんたちが笑顔を返して下さったり、「ごはんおいしかったよ」と言って下さったり…。



皆さんの笑顔に元気をいただく毎日です。皆さんが楽しく安心して過ごせるようがんばっていきますので、よろしくお願い致します。

編集

🌀

秋も深まり冬の訪れを感じる様になりました。例年なら秋の行事や旅行などを楽しむ様子が紙面いっぱいには載っていましたが、感染拡大防止のため、ほとんどが中止になってしまいました。以前のような日々が戻るにはもう少し時間がかかりそうですが、『こぶしの風』が利用者さんの明るい笑顔で溢れることを願うばかりです。

(木下美貴)